

気体検知管の使い方

理科室及び理科準備室掲示
(先生方用)

1 検知管の両端をカット

検知管をチップホルダにさして、くるくる回します。チップホルダの溝に合わせて検知管を倒し、両端を折り取ります。

検知管のG▶の印のある方にカバーゴムを取り付けます。取り付けないと、折り取った検知管のはしでけがをすることがあります。

酸素用検知管は青色



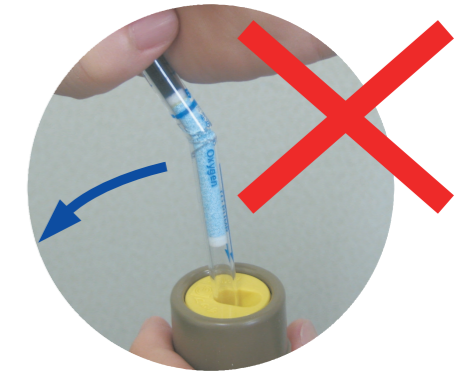
二酸化炭素用検知管はピンク色



チップホルダの溝に合わせないで、力を入れて検知管を折ってはいけません。

<検知管が割れた時は>

- 割れたガラスの破片、検知剤に絶対に触らない。触ってしまった時は、すぐに水でよく洗い流す。
- 白い煙(塩化水素)を吸い込んだ時は、目や鼻が痛くなったりせき込むことがあるため、すぐにうがいをして、さらに目と鼻を水でよく洗い流す。



溝の無い方へ倒して折ってはいけません

2 酸素用検知管を気体採取器に取り付ける

注意！！ 検知管の向きを間違えると、測定ができません。



(参考)

検知管のG▶マークと矢印→を気体採取器に向ける

3 気体の採取

気体採取器の赤い印を合わせてからハンドルを一気にカチッと音がするところまで引き、そのまま動かさずに1分待ちます。



4 目盛りを読む

検知管をはずして、目盛りを読みます。

注意！！
酸素用検知管は、熱くなっているので(70℃程度)、5分くらいは直接手で触らないようにしてください。やけどをします。



※ 箱の日付が2011年5月までの酸素用検知管を使う時の注意



箱に書いてある赤い日付を見る



ハンドルを戻すと白い煙(塩化水素)が出る

検知管を取り付ける向きを間違えない

G▶マークと青い矢印「→」を気体採取器に向けて取り付ける。(検知管の水色がわを気体採取器に向ける。)



<理由>

気体採取器に白い煙(塩化水素)が入り、外に漏れることがあるため。

<検知管を間違った向きで気体採取器に取り付けてハンドルを引いてしまった場合の対応>

検知管は外さない、気体採取器のハンドルは戻さない

- ①酸素用検知管を差し込んだままの状態でご屋外へ持って行ってください。
- ②気体採取器が風下になるようにして、酸素用検知管をはずしてください。
- ③周囲に人がいないことを確認してハンドルを戻してください。
- ④気体採取器から白煙(塩化水素)が出なくなるまで、ハンドルを引いて戻すことを繰り返してください。

検知管の使い方をお気軽にお問い合わせください。
株式会社ガステック 営業本部

〒252-1195 神奈川県綾瀬市深谷中 8-8-6
電話：0467-79-3911 FAX：0467-79-3979
<http://www.gastec.co.jp/> webadmin@gastec.co.jp